

心地よさに笑顔集まる 出会いが生んだ 納得の我が家



ダークブラウンでカラーコーディネートし、落ち着いた雰囲気を出したリビング。「地震に強い家」にこだわり、リビングとダイニングの境に構造を強化するために入れた壁が、空間の落ち着いた雰囲気を生んでいます。

Ｋさんご夫婦が名取りんくうタウンのモデルハウスを訪れたのは、昨年の梅雨の時期。もみの木の床が、裸足でもべた付かず、さらりとして心地よいことがとても印象に残ったそうです。また家の中の空気がほかと比べて匂わないことにも気が付き、直感で「いいな」と思ったとか。でも家づくりは大きな買い物。当然のことく、もっと慎重にいろいろ見て回ろうと考えました。そうはいっても、実は何を基準に選べばいいの分からないことばかりだったんです。というお二人。アヴィエスホームは、担当スタッフとの出会いが決め手でした。と振り返ります。もういわゆるセールストークという感じではなく、例えば軸組みと2×4など工法の違いや断熱材の種類、もみの木の床についても、メリット、デメリットの両方を踏まえてきちんと説明してくれた。疑問や不安も遠慮なく話せたので、この人と一緒に家づくりをしたいと思います。

構造から間取り、内装、設備など自分たちの選択にひとつひとつ納得しながらの家づくり。完成した我が家は「想像以上にいい家でした」と笑顔があふれていました。



担当より一言

営業
石井

思い出すのは、初めて現地でお話をし、お話を聞いて頂いた時のことです。ご主人の住居建築に对する慎重さや考え方が、私の中で、絶対お客様に知って頂きたい「長所」と短所を見極める家づくりの主旨と一致しており、私の期待には私なら応えられる「へた（弱み）」の思いが込み上げて参りました。一つ一つの心配事をその都度解消させて頂きながら、一歩一歩着実に打合せを積み重ねて参りました。不安のない状態を作り出してあげたという思いから（本当です。よくぞやん！）。アシスタントの伊藤にも結構な難題を負わせ、徹底的にこだわって、最終的に「お家」にお引き合っていたいただきました。工務の佐藤も加わり現場が始まって、三人四脚で、満足していただけた。お家をお引き出されたことと自負しております。ご主人とＫさんこの顔見となったら何時でも呼んで下さいね。

今年6月に入居。

お子さんのお友達やママ友など来客も多いそうですが、「この床、気持ちいい！って喜んでくれるんです」と奥さま。いい空気にいい笑顔の人が集まる家になっているようです。



丸窓が印象的なご主人こだわりの和室。おしゃれな居酒屋のようなしつらえて、友人たちを招いてお酒を飲むのも楽しみ。畳周りのもみの木の床ダークブラウンで。



玄関を入って正面の壁にはタイルを施しました。外観のグレーとつなげて和の雰囲気。右手に入ると大きなシューズクロックになっており家族分の靴がすっきりと収納できます。



仕事をしなが大学院にも通うご主人のため、ウォークインクローゼットのスペースを使って作った書斎。1畳ほどの広さですが、効率良い収納と小窓で快適に。

廊下などの無駄なスペースを省くばかりでなく、家族が顔を合わせる機会も増えると子育て世代に人気のリビング階段。お子さんたちも登ったり降りたりお気に入りの場所だそう。



CASE32:宮城県仙台市 Kさんのお宅

家族構成:夫・妻 長女 次女
延べ床面積:35坪 部屋4LDK
こだわり設備:もみの木の床 スピンオフ壁



奥さまのご希望で、壁に娘さんの学校からのお知らせやちよつとしたメモなどをマグネットで貼れる大きなボードを作りました。伝言など家族のコミュニケーションにも。



2Fの壁は奥さまの好きなピンク色。ホールを広く取ってニッチを作り、ファミリールームに。



ファミリールームには天井に収納できるタイプの室内干しを設置。



ご主人の好みの和のテイストを取り入れた外観。アプローチも御影石の飛び石で作りました。